

# 宗 務 所 便 り

2008年4月1日発信

No. 45

愛知西教区宗務所長 武山廣道 九拝

謹啓上 本年は桜の開花が早く爛漫として見ごろのことと存じます。

さて4月に入り新年度の始まりです。新しく希望に胸ふくらませ夢を抱いた青春が懐かしく思われます。気候も社会も政治も例年通りに進むことなく、とんでもないことが何度となく起きています。諸行無常とはいえ娑婆の風潮に押し流されぬよう今年度も精進してまいりたいと思います。皆様にもどうかよろしくご協力ご法愛の程お願い申し上げます。

頓首

## 3月の報告

3日	花園会女性部会長会	於、本山
3日～5日	第2回僧堂掛塔予定者学習会	於、本山
5日～7日	宗務所長会	於、本山
9日	無相教会教区連合会役員会	於、江南 一の丸
10日・11日	宗務支所長会	於、本山
11日	愛知同宗連講演会	於、中村文化小劇場
11日	「おかげさま」編集会議	於、中村文化小劇場
12日	詩偈研修会	於、徳源寺
12日～14日	寺庭婦人学習会(仏教講座終了スクーリング)	於、本山
13日	法燈行脚打ち合わせ会	於、本山
13日	青年僧の会総会	於、名古屋栄
16日	第9部 龍泉院先住職 高橋良鑑師遷化 83歳	
21日	津 送	於、龍泉院
16日～30日	春定期巡教	於、教区内寺院
25日	妙心寺展 準備会	於、名古屋市博物館
26日～28日	第39回少年少女研修会(親子研修会)	於、本山

## 4月の予定

4日	連合会講師実務者会議	於、江南市民文化会館
4日	教区役員会	於、宗務所
7日・8日	第1部花園会 遠諱団参	於、本山
8日	降誕会	
8日～12日	本山 恒例法要	於、本山
9日	詩偈研修会	於、徳源寺
10日	教区監査、地区長会	於、宗務所
14日	第2部花園会 遠諱団参	於、本山
15日・16日	詩偈講座・中間スクーリング	於、本山
17日	教区花園会部会長会、支所長会	於、名古屋都市センター
17日～22日	「無相大師遺誠を訪ねて」中国訪問(無相教会)	於、中国
22日・23日	第4部花園会 遠諱団参	於、本山
22日	教区寺院セミナー運営委員会	於、宗務所
24日・25日	教化主事会	於、本山

## <報 告>

### ◎ 第20回「愛知同宗連講演会」 教区人権擁護推進員 徳授寺 澤田慈明

第20回「愛知同宗連講演会」が開催され、教区役員を始めとし順番でお願いしました各部の人権擁護推進員の方にご出席をお願いしました。現在愛知県では、31の宗教教団が所属し同和問題に真摯に取り組み、宗教者としてのあるべき姿を研鑽する場でもあります。今回は、以下の内容でした。

日時 3月11日(火) 13:30～16:00

場所 中村文化小劇場にて

テーマ 映画『新・あつい壁』 中山節夫監督作品

当日は、お忙しいところご参加いただきました皆様に感謝申し上げ、以下報告書を頂戴しておりますので、この場にてご披露いたします。

#### 人権擁護推進副員 耕雲院 服部雅昭師

3月11日、春を一足飛びに初夏を思わせるような陽気の下、第20回愛知同宗連講演会に参加いたしました。『ハンセン病問題を考える』とのテーマで映画「新・あつい壁」が上映されました。

ハンセン病患者を巻き込んだある事件。その事件を取材する主人公(若い駆け出しの記者)の心の変化を描いた作品でした。偏見や差別は過去のものではないというメッセージに少なからぬショックを受けました。

「立場の弱い人達が、さらに弱い立場の人を責める」という表現があり、まさしく現代社会によく見られる光景と思われました。世にいう差別、偏見はもとより、それら以外にも日常の中で、目に見えぬ差別・偏見あるいはいじめなど、私達のごく身近にありましよう。

「偏見や差別は、真実や正義には勝てない」「真実は正義によって支えられ、初めて真実足りうる」、映画の中の台詞です。これらの力強い言葉を受けとめて参りたいと思います。

#### 1部 海福寺 城 良導師

平成20年3月11日午後1時30分より、名古屋市中村文化小劇場に於いて、「第20回愛知同宗連講演会」が開催された。開会式に続き、ハンセン病問題をテーマに、らい予防法廃止10周年。ハンセン病国賠訴訟勝訴5周年を記念して製作された映画「新・あつい壁」が上映された。これは差別の詳しい実情現状を知らない、気づかない方々にも、ハンセン病差別問題等視点を通して「差別とは何か」を感じ取っていただきたいとの主催の趣意によるものである。

映画の上映了って閉会式。閉会式では、「ハンセン病問題基本法」を制定し、開かれた国立ハンセン病療養所の未来を求める国会請願署名のお願いがあり、午後4時10分頃終了した。

#### 2部 龍珠寺 藤田宗祝師

誠に重苦しい映画を見てしまったな、という感で今、言葉に表せれない状態です。この問題に真正面から取り組んでいる人、避けて通りたい人、無関心、無知な人。他を見れば限りなく更にもっと厳しい現実の中で生きている人、私自身 将に人は苦を背負って生きる宿命にある様です。

#### 3部 總見院 戸崎祥之師

3月11日に開催された、第20回愛知同宗連講演会を聴講させて頂きました。らい予防法廃止10周年・ハンセン病国賠訴訟勝訴5周年を記念して製作された映画「新・あつい壁」が上映され、ハンセン病に対して正しい知識のない私にとって、差別や現状を認識するよい機会となりました。

2003年11月に熊本県の温泉宿泊施設で起きた、ハンセン病療養所の入所者に対する宿泊拒否問題はまだ記憶に新しい事件ですが、事件後に入所者に対する批判や中傷が相次いであった事を初めて知り、未だ社会の偏見や差別意識が払拭されていないことを痛感しました。

今回の講演に参加させていただき、人権擁護・差別解消のためにはまず問題を正しく認識することが不可欠であり、一人ひとりの人権意識を高めていく必要があると感じました。宗教者の端くれとして深く考えさせられた一日でした。

#### 4部 観音寺 小瀬秀道師

去る3月11日名古屋市の中村文化小劇場において、第20回 愛知同宗連講演会が開催され、テーマ「ハンセン病問題を考える」映画中山節夫監督作品「新・あつい壁」を上映されました。

戦前から戦後にかけて、ハンセン病を発症したというだけで、患者は社会で生活することを許されず、官民一体となってすすめられた「無らい県運動」等によって、町や村から徹的に排除され国立療養所に強制隔離されました。

戦後は特効薬プロミンにより、ハンセン病は治癒するようになりましたが、患者の強制隔離絶滅政策を基本とした「らい予防法」は、1996年まで在続したために、病は癒えても社会復帰は容易ではありませんでした。

長年強制隔離政策に苦しめられてきた入所者が、その晩年を、社会から切り離されることなく、たとえ「最後の一人」になるときが来るとしても、社会の中で生活するのと遜色のない生活及び医療が保障され、安心して暮らすことができることを願っています。

#### 13部 観音寺 梅田宗孝師

去る3月11日(火)、中村文化小劇場に於いて「第20回 愛知同宗連講演会」が開催されました。らい予防法廃止10周年記念・ハンセン病国賠訴訟勝訴5周年記念映画「新・あつい壁」が開会式に引き続き上映されました。映画上映前の薄暗い会場全体の様子を後方の席より見渡してみたところ、参加者は私達のような宗教関係者だけでなく、ごく普通に街で見かけられる比較的若い人達も講演会に出席していました。「他団体に所属しているにしろ関係者にしろ、このような人権問題を扱ったドキュメンタリー映画を観る機会に出くわしたのもひとつの縁。感じるころは様々とはいえ貴重な経験・・・」などと思いを巡らしつつ映画を鑑賞致しました。

以前、当教区の寺院セミナー現地研修会にてハンセン病療養所「国立駿河療養所」を訪れましたので、療養所を巡る環境が昔と今で大きく様変わりしたのは認識していました。しかし差別や偏見の意識は依然として存在し、さながら扇動する‘‘見えない手‘‘のように未だに根強く社会の根底に息づいていること。そしてそれは時に真実をも簡単に歪めてしまうこと・・・などの切実な問題を、近年起きた‘‘温泉宿泊拒否事件‘‘の事実を織り交ぜながら、映画「新・あつい壁」は描かれていました。

ハンセン病に限らず人権に関わるすべての問題を、まず知ること。そして私たち一人ひとりの心の内に問いかけて理不尽さを一つ一つ解消していく。それらが積み重なって、結果として大きなうねりとなっていけば良い、と感じました。

#### 14部 桂林寺 後藤彰仁師

3月11日「ハンセン病問題を考える」に出席し、映画「新あつい壁」を見てきました。愛知同宗連の行事には始めて参加させていただきました。人権問題や差別問題は前々から叫ばれていますが、根が深くまだまだ改善されていません。今回のような催しでもっと大勢の人たちに知ってもらえたらと思います。

#### ◎ 春定期巡教

定期巡教も無事に終了し、開教寺院の皆様にはお疲れさまでした。「定期巡教報告書」を提出いただきますようお願いいたします。

#### ◎ 定期宗務所長会の報告

3月5日～7日宗務所長会に出席。報告は、支所に送付してありますので閲覧してください。

◎ 教区寺院セミナー運営委員名簿 (平成 20 年度～21 年度)

部	寺院名	氏名	部	寺院名	氏名
1 部	海福寺	城 良導	8 部	常福寺	松本 寛山
2 部	龍珠寺	藤田 宗祝	9 部	臨溪院	宮川 富山
3 部	楽音寺	杉村 陽介	10 部	東漸寺	長谷川實弘
4 部	永弘院	丸毛 俊宏	11 部	寶光寺	六鹿 正紀
5 部	退養寺	山本 哲也	12 部	大日寺	山田 宗興
6 部	瑞雲寺	青井 有信	13 部	国分寺	小川 寛行
7 部	瑞林寺	小嶋 大雲	14 部	桂林寺	後藤 彰仁

<お願い お知らせ>

◎ 20 年度 支所長会・花園会部会長会は、平成 20 年 4 月 17 日(木)に開催

既に、ご案内をしましたが予定いただきますようお願いいたします。

◎ 開山無相大師 650 年・教区遠諱法要の日程について

教化本部

開山無相大師 650 年遠諱法要が各教区にて開催されております。愛知西教区は、来る、平成 20 年 10 月 28 日(火)(友引)に確定しております。

当日は、午前中に 650 年遠諱法要。午後からは、檀信徒並びに一般社会に妙心寺派の教えを広めるようなイベントを計画してまいります。

午前中の遠諱法要は、住職、本山にて垂示をされました方は全員出席。管長猊下を導師にお迎えして、教区挙げての荘厳なる法要にしたいと考えております。

◎ 特別報恩写経のお願い

写経をお勧め下さいます様お願いいたします。なお写経用紙の不足な方は花園会本部まで連絡下さい。用紙は無料で送付されてきます。

◎ 花園会員名簿の提出

花園会員の死亡、脱会、入会、住所・世帯主の変更など異動があれば提出ください。



妙心寺と開山さま

六五〇年大法要

遠諱テーマ 『どう活かす わたしのいのち』

開山無相大師 650 年・愛知西教区遠諱法要 平成 20 年 10 月 28 日(火)(友引)